



桑原フリーマーケット&こころの健康フォーラム

タイトルイラスト: 向井 志織 さん

今年の椿さんは2月25日からの遅い開催ですが、それも終われば、桑原地区の春の風物詩となりつつあるフリーマーケットが開催されます。こころの健康フォーラムとの同日開催ですので、楽しい買物とバザーを体験してみませんか。

くわばらまちづくりフリーマーケット

日時：平成27年3月15日(日) 午前10時～午後1時
 場所：市道桑原184号線(桑原5丁目34番地先)
 桑原中央通り(歩道南側市有地・3ブロック間)
 主催：桑原地区まちづくり協議会
 共催：桑原公民館桑原分館・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
 愛媛大学農学部

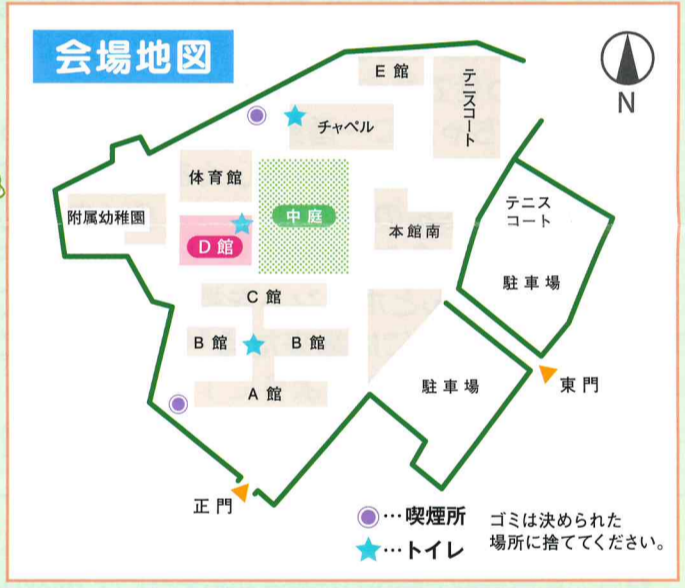


「昨年のフリーマーケット」

○出店募集
 出店参加者を募集いたします。出店参加者希望の方は下記事務局までご連絡ください。
 提供区画数：全20区画 1区画 3.0m × 3.0m 出店料1区画 1000円
【連絡先】事務局 朝山 090-1000-3666 (申込締切 2月20日)
 ※ 雨・風をしのげる設備はありません。

こころの健康フォーラム&バザー(同日開催)

場所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学中庭広場
 場時：9:50 市長あいさつ・セレモニー(中庭)
 10:20 劇団まる公演「さちこさんの場合」～発達障害の半生～(D館)
 10:30 地域交流バザー販売開始(中庭)
 炊き込みご飯・桜餅・シフォンケーキ・フライドポテト・焼き豚玉子飯
 つきたて餅・から揚げ・豚汁・ケーキチョコ・焼き菓子・コーヒー
 11:45 地域団体によるパフォーマンス
 畑寺獅子舞保存会・大護幼稚園・JOYPOP他
 13:10 枝廣 篤昌氏 講演会「笑のチカラ」～笑って心も身体も健康に～
 主催：松山市
 運営：社会福祉法人 さらりの森(松山市より委託)



桑原地区防災訓練 各町一時避難場所から桑原分館へ

3月8日(日)10時から南消防署と消防団桑原分団、桑原地区自主防災組織連合会、まちづくり協議会安全安心部の協働で桑原地区防災訓練に取り組みます。本年は南海トラフ巨大地震によってライフライン(電気、ガス、水道)が全面ストップした中で、どのように生活用水を確保し、トイレを確保するか、また、桑原分館施設を活用した耐震性と家中の減災について、東日本大震災の教訓から学びたいと考えています。その他、起震車体験・消火器訓練・煙ハウス訓練・子どもミニ消防車・消防服など催し物も一杯準備しています。正午までに女性防火クラブの炊き出しの提供もありますので、ご近所の皆さん誘い合って、役員のリードで桑原分館でお会いしましょう。

地区防災女性部会を開催

地区内の女性防災士が中心となった学習交流会が昨年12月6日(土)に桑原分館で開催されました。交流会では東日本大震災の教訓から女性のための避難所対策を行うことが、高齢者や病弱の方の安心安全につながるということや、プライベートブースや別室の確保、男女別のトイレをどう確保するか、また、避難所のそばにトイレを確保するためには、マンホールトイレ、テントトイレなどいろんな選択肢と機材が何よりも必要ということを学び、地区防災全体へ呼びかけることにしました。そのほか、各町の一時避難場所やAED設置箇所を確認し、新しく作成する福祉マップに追記することにしました。

通電火災について

～忘れていませんか? いざという時の電源off～

活性振興部が主催している桑原地区町内会連絡会議で、「通電火災」についての勉強会を開催しました。
 大きな災害・震災が起き、ライフラインが断絶した時でも、主な所では、2日から3日後には電気が復旧を始めますが、その時、コンセントに刺さったままになっている電気製品の破損や電線の圧迫等が原因で発生するのが「通電火災」です。
 それらの実験映像を見せていただき、どう対応するのがベストなのかを話し合いました。日々、災害に対して、どう向き合っていくのか意識しておくことが、「災害に強いまちづくり」には必要ではないでしょうか。
 活性振興部 部長 門田 晃良

まちづくり協議会運営支援委員会のご案内

自主防災活動の取り組み方などについて住民同士の意見交流を図るため、講師をお招きし「災害時における要支援者の救済」について講演会を開催します。ぜひご参加ください。

■日時：平成27年3月4日(水)午後7時～
 ■場所：松山東雲女子大学 本館北 3F 3-11 教室
 ■演題：「災害時における要支援者の捜索活動について」
 ～手と手を取り合う救済活動～
 ■講師：松山市北土居町 町内会長 丹下 正勝 氏
 (石井地区まちづくり協議会事務局長)
 ■参加資格：どなたでも



保健福祉部研修視察報告

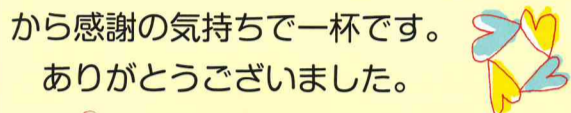
保健福祉部では、昨年11月11日に初めて福祉施設視察に行ってきました。まちづくり通信で公募し、申し込みされた方を含め総勢20名ほどが貸し切りバスで参加。お天気も良く研修には最高の日和となりました。

初めに救護施設丸山荘を見学。入所者の皆さまは色んな所で熱心に作業・仕事をしていました。次に宋友福祉会の障がい者の方の作業所を見学。広大な敷地内で丹精込めてパンジーやビオラを作っていました。県外に出荷とのことでしたが見事な花がズラリと並びそれはそれは綺麗でした。

ちょうどお昼になり、障害者多機能型作業所きらりの森から届いた美味しいお弁当を食べ、最後に特別養護老人ホームガリラヤ荘の見学をしました。どの施設も掃除が行き届き清潔感あふれ感心しました。参加者からは、「また機会があれば行きたい」「大変勉強になった」等の声が聞かれ嬉しかったです。ご協力いただいた施設の皆さまに心から感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございました。

保健福祉部 部長 今井 典子



いきいき東野四葉サロン

東野下公民館の和室に13名のメンバーが集まり私たち保健福祉部2名を迎え入れてくれました。その日の午前中はメンバーで「七草粥」を手作りされ、午後1時からは保健福祉部との懇談で3時のおやつには美味しいお汁粉!

このサロンは平成18年6月に発足し、もうすぐ10年になります。それまでは何人かの仲間楽しんで集まりを社会福祉協議会からの声掛けで、「サロン」として立ち上げたそうです。

現在19名の会員(うち3名が男性)で月2回木曜日に開催し、外部講師を招いたり色々プログラムを工夫されているようです。

この日は参加のメンバーの方々から「ここへ来るのが楽しみ。友人ができ勉強にもなり、何よりおしゃべりができる」と、一人一人が「自立」をモットーに会を活発に盛り上げている様子でした。世話人の方からはそろそろ順番で代表交代も考えたいと言われていました。

ある方からは「自分が認知症になって徘徊してもここへ来たお陰で声を掛けてもらえそう」と発言され、この発言には私たちも「これぞ、まちづくりの真髄だ!」と感動しました。取材ご協力ありがとうございました。

(保健福祉部副部長 須藤)



ふれあいサロンくわのみ

「ふれあいサロンくわのみ」さんにお邪魔しました。21年前に「いきいきデイサービス」として始まり、平成17年から現在の名前になったそうです。週1回 水曜日9時半～15時半に活動されています。15名の登録があり、取材日には10名の方が参加され、女性はトランプで大富豪、男性は囲碁を真剣にされていました。

活動内容は月1回の俳句、年1回の旅行があり、他には料理、色紙、ビーズでネックレス作りなど、皆で話しあい活動内容を決めているそうです。「みんなと一緒に色々な事ができるんだよ」料理もそれぞれ役割があってできることをするんだよ「家で引きこもるより、みんなと話したら楽しいよ」と話されていました。

ロコミ、お友だちの紹介で参加されるようになった方がほとんどですが、「ふれあいサロンくわのみ」は松山市の方ならどなたでもどうぞと、地域限定はしていないそうです。

現在桑原分館で活動していますが、桑原本館耐震工事が終了すれば本館での活動になるそうです。みなさんも一度見学されてはいかがでしょうか。

(保健福祉部 中島)



“笑う門には福来たる”新春放談会(落語寄席),,

1月24日(土)に畑寺福祉センターで毎年恒例となった新春落語寄席が行われました。午後7時開演の予定でしたが、お客様の出足が悪く畑寺時間の5分遅れの開演となりました。

昨年は第10回記念ということもあり、古今亭菊志ん師匠をお迎えして盛大に行われましたが、新たなスタートとなる第11回目は、元に戻ってらくちゃん(らくさぶろう)一家と愛大落研のメンバーで行われ、今年も大いに笑わせてもらいました。

今回、らくちゃんに一番弟子の“ひめさぶろう”が誕生しました。皆さんも応援よろしくお願ひします。約1時間、寿亭又三郎さんの落語に始まり、らくちゃんの落語、大喜利と今年の初笑いが出来ました。子どもたちもちゃんとポイントを押さえて笑っていました。“笑う門には福来たる”今年が皆様にとって良い年となりますように!

教養文化部 部長 市川 泰輔



小学生と大学生が一緒に新春の書き初め大会を行い、交流を深めました。

桑原公民館分館で開かれた書き初め大会には、市内の小中学生や保護者など約10人が参加しました。まず、松山東雲女子大学・短期大学の書道部「書道が一らず」による書道パフォーマンスが行われ、部員らは音楽に合わせてダイナミックに筆を走らせた。

書道が一らず

その後、子どもたちは早速半紙に向かい、大学生のアドバイスを受けながら「もち」や「平和の光」などが書きたい言葉を真剣な表情で書いていました。行事を通じて地域の人との繋がりが広がればと思っています。



つきたてのおもちに大喜び

昨年、12月4日(木)、桑原小学校の2年生は自分たちで田植えをし、刈り取ったもち米を使って、もちつきをしました。

雨にもかかわらず、地域や公民館、JA桑原の方、保護者の方に見守られながら、ひとつきひとつき「おいしいおもちになって欲しいな。」という願いを持ってつきました。

出来上がったおもちは、砂糖醤油、大根おろしなどで味付けをしました。みんな「つきたてのおもちは、やわらかくて、とってもおいしい」と大喜び、お米のおいさと、米づくりの大切さを学んだ学習になりました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



協力金ありがとうございます

昨年7月にお願いいたしました「遊歩道整備協力金」につきましては、1月末時点で、個人・グループ・事業所等、約80件の皆様から、暖かいお言葉とともに、多数のご芳志を賜り、会員一同、感謝感激いたしております。誠にありがとうございます。

皆様方のこのお気持ちを支えに、今後、益々整備に励んで参ります。お一人お一人に御礼申し上げるべきとは重々承知いたしておりますが、住所不詳の方もあり、本紙紙上にて失礼させていただきます。ご意見・ご希望等とともに、今後のご支援方につきましてもお寄せくだされば幸いです。

淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会 会長 戒田平人、会員一同

